

YACかわら版593

多彩な観測・実験に使用されている観測ロケット

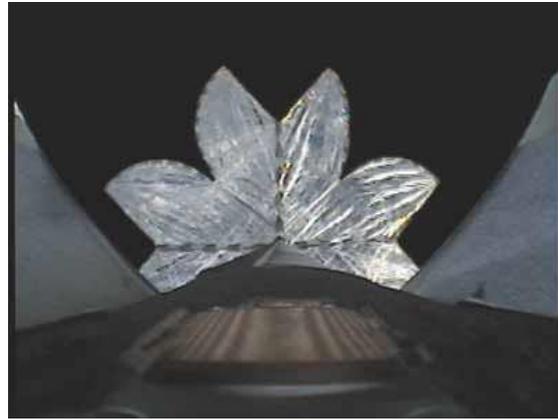
2025年6月24日



S-310-39号機実験
(オーロラ活動に伴う極域下部熱圏
の力学とエネルギー収支の研究)

2009年1月26日 打上げ

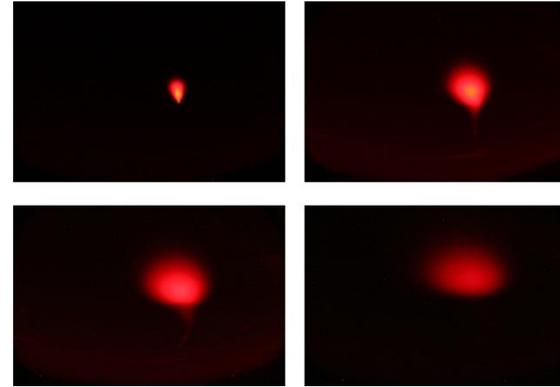
オーロラとロケットから
放出された白色の
TMA(トリメチルアルミニウム)
発光
提供: 国立極地研究所



S-310-34号機実験
(ソーラーセイル展開)

2004年8月9日 打上げ

ロケットの尾翼のそばに装着
されたカメラがとらえた
展開後のクローバー型薄膜
(画像: JAXA)



S-520-23号機実験
(高度300kmまでの中性・電離大気
観測と気象・海洋現象の多波長撮影)

2007年9月2日 打上げ

上: ロケットから放出されたリチウム発光雲
(提供: 北海道大学、高知工科大学)
下: ロケット打ち上げの瞬間
(画像: JAXA)



SS-520-5号機実験
(超小型衛星打上げ)

2018年2月3日 打上げ

超小型衛星「たすき」(TRICOM-1R)
重量: 約3kg
軌道: 近地点180km×遠地点1500km
(画像: JAXA)